

Title	三田史學研究會例會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1943
Jtitle	史学 Vol.21, No.2 (1943. 2) ,p.127(269)- 128(270)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19430200-0127

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

と共にオールドストック旗王府秘書長格什克巴圖氏の遺著蒙文元朝秘史（一—五卷）一冊が宿に届けられてゐた。同書は六卷以後も原稿は既に完成済で目下徳王の手元にあつて待印中とのことである。出版の曉は更にいたゞきたい旨お願しておいた。特務機關に挨拶を済ませ、夜の汽車で折柄張家口まで出張されると云ふ久下氏と同車。小生は一路北京への歸途に就き、翌二十八日夕刻無事歸燕した。

三田史學研究會例會報告

昭和十七年

四月二十八日（火）午後三時 於萬來舎 新入生歡迎會（第三百二十二回例會）

漢代初期に於ける住民の移動

鈴木 從道君

カルタゴ撲滅論考

近山 金次氏

五月十九日（火）午後三時 於萬來舎（第三百二十三回例會）

奴隸賣買と南北戦争

長谷川正賢君

日本國家起源論考

三浦 厚君

班田制の諸問題

今宮 新氏

六月九日（火）午後三時 於萬來舎（第三百二十四回例會）

メキシコに於けるスペインの創設事業

木室喜代治君

古代社會に於ける刀劍に就て

本阿彌光博君

南宋の名臣張浚について

加藤 繁氏

六月三十日（火）午後三時 於萬來舎（第三百二十五回例會）

武都に於ける氏族の王國

三井 昭君

日蓮の國體觀

村上 寛君

南蠻鐵について

幸田 成友氏

七月十四日（火）午後一時 於新館十二番教室（第三百二十六回例會）

滿蒙旅行談

杉本 忠氏

九月五日（土）午後三時 於萬來舎、卒業論文披露兼送別會

（第三百二十七回例會）

聖德太子研究序説

太田 次男君

古代に於ける土地所有制度

笠尾 國彦君

平安末期に於ける大宮人の生活心情

柳澤 最昭君

樂市考

菊地 正世君

神父コスム・ド・トルレスの生涯

福田 兼治君

支那古代に於ける美術思想とその史的展開

北野 政義君

制度上よりみた漢代の力役之征

加藤 忠彦君

唐初に於ける道教思想に就ての一考察

調所 武夫君

明初に於ける倭寇防壓について——特に

小島 一仁君

浙江福建を中心として——

鈴木 從道君

太平天國の對外關係

陳 荆 和君

乾隆帝安南出兵の顛末に就て

三松 圭甫君

免罪符と初期宗教改革進展の經緯

竹田 豊英君

クロムウエルの外交政策

南北戦争當時のアメリカ南部に於ける耕

作地の生活

長谷川正賢君

十月二十七日(火)午後二時半 於慶應クラブ別室 新入生歡迎會(第三百二十八回例會)

歴史的理解

西洋史三年 花岡 松次君

幼稚舎の歴史

吉田小五郎氏

十一月十七日(火)午後三時 於七十八番教室(第三百二十九回例會)

漢北狄間の交易に就て

東洋史三年 鵜飼 祥一君

梁田の戦闘

國史三年 田中 直光君

幕末日佛交渉と宣教師

佐藤 直助氏